

タイトル	大人向けの夢
ポーランド語のタイトル	Dorośle marzenia
テーマ *	c
名前	アレクサンドラ スカザ
ポーランド語の名前	Aleksandra Skaza
学校名 * 2	ヤギエロン大学
学年	2年生
日本滞在歴	なし

* a. 異文化理解 b. 現代の諸問題 c. 私の大切なもの d. 私からの未来へのメッセージから選択

みなさん、こんにちは。

子供はいろいろな夢を持っています。私は小学校の時、漫画家になりたいと思っていました。そのためにどうすればいいのかをいつも考えていました。一番大事なのは日本語能力だろうと思いました。日本語ができれば日本で漫画を習って日本でデビューできるかもしれないと思ったのです。ですから小学生の時からも両親に日本学科に入りたいと言っていました。私の希望を聞いて両親は非常に悩んでいました。日本学科に入るのにこの成績で大丈夫か、また卒業した後仕事が見つかるのかなどと心配していました。両親には漫画のことはあまり話しませんでした。そんな夢みたいな話を大人はわかってくれるはずがないと思ったからです。

イギリスの作家トルキーンは、おとぎ話は子供向けというより、むしろ大人のためにあるのだと言っています。将来の夢もこのおとぎ話と同じだと私は思っています。子供にとって夢を見ることは呼吸のように普通のことです。しかし大人は、大人になるためにしばしば自分の夢を捨てることになってしまいます。どれだけ素晴らしい夢でも夢はただの幻だと、たいていの人は考えるからでしょう。

私の父がいつも言っていました。大学を選ぶときには趣味ではなくて、卒業後の仕事のことを考えなくてはならないと。それは全くその通りです。しかし立派な仕事をしてお金を稼ぐことで人は本当に幸せになれるのでしょうか。

私は、幸せのために大人も夢を見るべきだと思います。もちろん大人向けの夢です。私の場合は漫画家になる夢から日本語を勉強する夢が生まれました。これが私の大人向けの夢です。そしてもう一つ言いたいのは、夢は追いかけるだけの価値があるということです。実現できそうもない夢でも、それを追いかけるためにいろいろ勉強するし試行錯誤もするでしょう。小さな夢でも平凡な現実にも光をもたらす力があります。夢を見るのは決して現実逃避ではありません。夢を見て、その夢から力をもらうからこそ現実の日々を歩んでゆけるのではないのでしょうか。

ご清聴ありがとうございました

Podsumowanie(60-70 liter)

Wielu ludzi twierdzi, że marzenia są iluzją, którą nie warto kierować się w życiu, lecz należy zostawić ją dzieciom. Ja jednak uważam, że jest inaczej - to dorośli powinni mieć marzenia, nawet bardziej niż dzieci. Podczas gdy dla nich jest to zupełnie naturalne, dojrzały ludzie, często przytłoczeni rzeczywistością, zapominają o mocy, jaką mają marzenia - a mianowicie, stanowią bodziec do nauki nowych rzeczy i rozświetlają naszą codzienność.